

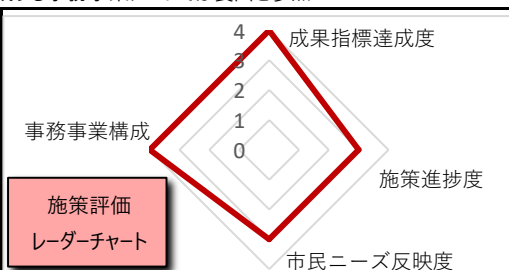
令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No.	3 - 1
-----	-----------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第1節 調和のとれた住環境づくり	所管部署名	都市整備部
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）	評価責任者	竹内 栄一
	施策小項目	1 良好な宅地開発の促進	施策小項目	
	施策小項目	2 地区計画制度の活用	施策小項目	
	施策小項目	3 魅力的な地域景観の形成	施策小項目	
	施策小項目	4 公的住宅の供給促進	施策小項目	
	施策の目的	・魅力的で、安全で良好な住環境が形成されていることをめざす。 ・生活を営む上で必要な居住環境を提供することをめざす。	市民の役割	都市計画法、建築基準法、まちづくり整備基準条例、埼玉県景観条例等を理解し、遵守する。また、良好な住環境と景観の形成・保全に努める。
	施策に関する個別計画	行政の役割		

区分	指標名 (上段)		単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)							
①	まち並み（景観）を「よい」と回答した人の割合		%	65.2	73.7	66.3	A	67.0
	増加することが良いとされる指標			H28	R1	R1		R3
②	地区計画区域の指定面積		ha	509.7	522.1	524.1	B	531.3
	増加することが良いとされる指標			H27	R1	R1		R3

評価軸	評価方法		評価点
	指標達成状況	理由・説明	
①	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 7点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	4点
②	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50~80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	・令和元年度の市民意識調査で「住み心地を『よい』」と感じる理由を伺った結果、1番目が「自然環境の多さ」、2番目が「治安」、3番目に「街並み（景観）」をあげている。 ・地区計画の指定については、平沼周辺地区の指定は完了し、概ね計画通りに進捗している。	3点
③	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	・地区計画の指定にあたっては、地区住民の意見を反映できるよう、説明会や案の縦覧などを行い、合意形成に努めた。	3点
④	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	・事務事業の構成としては、施策の目的を達成するに十分な内容となっている。なお、事務量等を考慮し、類似している事務事業は、統合等を検討する必要がある。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
施策に関する現状と課題			総合評価 4点 評価軸①~④の評価点の平均点
・本市の市街化区域の約69.7%において地区計画を指定している。 ・より多くの市民にまちづくりに関する法令等について知ってもらい、理解を深めてもらうことが必要である。			



令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日		No. 3 - 2	
基 本 事 項	施策名	第2節 みどり豊かなまちづくり	所管部署名	都市整備部
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）	評価責任者	竹内 栄一
	施策小項目	1 公園の適正な維持管理	施策小項目	
		2 身近な公園の整備と公共空間の確保	施策小項目	
		3 緑化の推進とみどりの保全	施策小項目	
	4 水辺空間の整備	施策小項目		
	施策の目的	水と緑に囲まれた豊かな生活環境の実現をめざす。	役割 分担	市民の役割 ・地域に愛される公園・緑道づくりをめざし、整備計画への参画に努める。 ・街区公園などを地元自治会で維持管理することに努める。 行政の役割 ・地域に愛される公園・緑道づくりを行う。 ・緑化奉仕団体を支援することにより、市民の緑化意識の向上を図る。
	施策に関する個別計画	吉川市緑の基本計画（平成10年度～令和2年度）		

区分	指 標 名 (上 段) 指 標 の 性 質 (下 段)	単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
指 標	① 公園の整備を「よい」と回答した割合	%	65.4	65.4	68.2	D	70.0
	増加することが良いとされる指標		H28	R1	R1		R3

	評価軸	評価方法	評価点
施 策 の 評 価	評価軸① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 1点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
	評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50~80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	・公園の整備については、主に公園再生プロジェクトにおいて再整備を進めている。財源の確保や公園利用を中止せずに整備していることから、計画よりも期間はかかっているが、民間等の協力も得ながら、効率的に準備を進めている。
	評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	・市民からは、公園施設の補修や監理に関する除草等の要望が多く、即時に現場の状況を確認した上で、支障のあるものから順次対応している。即時に対応できないものについても、処理するまでの経過を記録し、情報を管理している。・市民意識調査の結果では、公園の整備の満足度は65.4%となっている。
	評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	・みどり豊かなまちづくりには、公園の維持管理や緑化の推進が必要であり、設定した事務事業は妥当なものである。 ※構成する事務事業については裏面を参照
	施策に関する現状と課題		総合評価
	・都市公園の多くは土地区画整理事業において整備し、整備後20年以上経過した施設が多く経年劣化が進んでいることから、維持管理するための財源の確保が課題となっている。		3点
		施策評価 レーダーチャート	評価軸 ①～④の 評価点の 平均点

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日		No.	3 - 3			
基	施策名	第3節 美しい水環境の創出		所管部署名	都市整備部		
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）		評価責任者	竹内 栄一		
	施策小項目	1 汚水処理施設の整備	施策小項目	5 農業集落排水の運営	関連部署名(1)	都市整備部河川下水道課	
	施策小項目	2 合併処理浄化槽の普及	施策小項目	6 水環境保全の推進	関連部署名(2)	市民生活部環境課	
	施策小項目	3 汚水処理施設管理の充実	施策小項目		関連部署名(3)	産業振興部農政課	
本	施策小項目	4 浄化槽の管理		関連部署名(4)			
	施策の目的	河川や排水路等の水質が改善され、清潔で快適な水環境をめざす。			役割分担	市民の役割	
事	施策に関する個別計画	吉川市生活排水処理基本計画（平成22年度～令和7年度）		行政の役割			下水道接続及び合併浄化槽転換について啓発活動及び補助により促進する。 下水道施設の適正な維持管理と主要な施設の耐震化を図る。
		中川流域関連吉川公共下水道事業計画（昭和53年度～令和2年度）					
項							

区分	指 標 名 (上 段)	単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)						
指	① 公共下水道水洗化率	%	95.3	96.3	96.0	A	96.3
	増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3
標	② 浄化槽法第11条検査受検率	%	11.0	16.0	19.0	C	23.0
	増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3

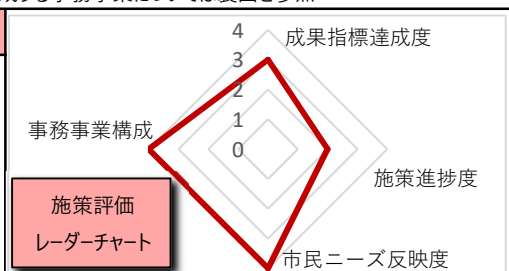
施策の評価	評価軸	評価方法	評価点
	① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 6点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50~80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評価の理由・説明 「水洗化率」については、区画整理事業の進捗に伴い増加しており、目標数値を達成することができた。 「浄化槽法第11条検査受検率」については、16.0%となり、年々上昇しているものの、目標数値を達成することができなかった。	3点
③ 市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	市民からの要望苦情については、汚水処理に関しては、ほとんどなく、おおむね満足していただいているものと思われる。	4点
④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	汚水処理を進める手段として、本市では公共下水道、合併浄化槽、農業集落排水となっており、その整備及び維持管理を進める事務事業は施策を達成するに妥当であると考えます。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
総合評価	施策に関する現状と課題 ・下水道事業においては、水洗化率は96.3%となり、高水準であると考えます。未接続世帯は未だあるものの、金銭的な問題により未接続となっていることがほとんどであるため、戸別訪問等を行ったとしても費用対効果に見合うかは疑問である。今後については、通知等による啓発を中心に行っていくべきと考えます。 ・汲み取り便槽や単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換補助を行い、公共用水域の水質保全に努めている。 ・令和元年度における浄化槽法第11条に基づく法定検査受検率は、緩やかに上昇しているものの、県平均を下回っている。引き続き広報や出前講座等での周知を行い、受検率率向上に努める。 ・農業集落排水事業においては、対象区域内に、施設への未接続世帯が発生している。		4点
			総合評価 4点

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No.	3 - 4		
基	施策名	第4節 環境にやさしいまちづくり	所管部署名	市民生活部	
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）	評価責任者	中山 浩	
本	施策小項目	1 地球環境の保全	施策小項目	5 循環型社会の構築	
	施策小項目	2 地域環境の保全	施策小項目	6 廃棄物の適正な処理	
	施策小項目	3 公害の未然防止対策	施策小項目		
	施策小項目	4 自然環境の保全	施策小項目		
事	施策の目的	・市民・事業者・行政が一体となって、地球規模の環境問題に積極的に取り組む社会をめざす。・市民と協働で、身近な地域環境の保全に取組み、美しい生活環境をめざす。・公害問題のない、環境にやさしい快適な生活環境をめざす。・動植物種の保護に努め、自然豊かな環境をめざす。・持続可能な循環型社会の構築をめざす。・廃棄物が適正に処理される社会をめざす。		役割分担	
	施策に関する個別計画	吉川市環境保全指針（平成12年度～令和2年度）			市民の役割
		第4次吉川市環境配慮率先実行計画（平成28年度から令和2年度）			
		第3次一般廃棄物処理基本計画（平成25年度～令和4年度）			
項			行政の役割	地球規模の環境問題から地域の環境問題まで幅広く環境問題に対する関心を高め、地球や地域にやさしい行動の実践に努める。	
				環境の保全と持続性のある社会実現に関する目標設定を行い、市民、事業者に対する環境配慮意識醸成を図る。	
				一事業者としても環境配慮の率先実行を行う。	

区分	指標名（上段）	単位	設定時の値	実績値（年度）	目標値（目標年度）	達成状況	最終目標値（目標年度）
	指標の性質（下段）						
指	① 1人1日当たりのごみ排出量	g	794.0	804.0	758.0	D	750.0
	減少することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3
標	② 吉川市環境配慮率先実行計画（エコオフィス吉川）	t-CO2	4,800	4,543	4,629	A	4,560
	減少することが良いとされる指標		H26	R1	R1		R3

施策の 評価	評価軸①	評価方法	評価点
	指	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。
策	評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50～80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	2点
の	評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	4点
評	評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	4点
価	施策に関する現状と課題		1人1日当たりのごみ排出量は、第3次一般廃棄物処理基本計画(平成25年度から34年度)を基に設定したが、大型商業施設や大型店舗の店出と美南地区の開発に伴う事業所や店舗の新設により、事業系のごみ排出量の削減が進まなかった。今後、第4次一般廃棄物処理基本計画（令和5年度～）を策定するにあたっては、現状に即した事業系ごみの排出状況を踏まえ策定する必要がある。 また、温室効果ガス削減量については、年度ごとに排出係数が変更となるため、平成26年度の排出係数で算出したものである。令和元年度のエコオフィス吉川と集計結果が異なるものの、温室効果ガスの削減目標は達成された。
			総合評価 3点 評価軸①～④の評価点の平均点



貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値		
構	1	503102	環境保全推進事業	1 環境に配慮した生活を実践している人の割合	%	100	100	現状のまま継続
	2	503103	畜犬登録事業	1 狂犬病予防注射率	%	70.00	62.60	現状のまま継続
	3	503115	測定分析事業	1 環境基準等達成率	%	100	99.00	現状のまま継続
	4	503106	太陽光発電設備設置促進事業	1 補助金交付決定件数	件	15	14	他の事業に統合
	5	503112	公害対策事業	1 典型7公害改善率	%	60.00	60.32	現状のまま継続
成	6	503101	地域美化事業	1 側溝清掃実施回数	回	15	9	他の事業に統合
	7	503105	有害鳥獣・鳥獣保護事業	1 鳥獣被害相談解決数	%	100	100	手段を改善
	8	503111	専用水道・簡易専用水道事務	1 簡易専用水道法定検査受検率	%	78.00	75.80	現状のまま継続
	9	503205	ごみ減量啓発事業	1 ごみ減量説明会・出前講座参加人数	人	840	818	現状のまま継続
	10	503204	ごみ資源化推進事業	1 資源ごみ(紙・衣類、ペットボトル)売却代	円	21,568,000	12,487,626	現状のまま継続
す	11	503116	浄化槽設置補助事業	1 合併処理浄化槽転換基数	基	35	22	現状のまま継続
	12	503117	浄化槽維持管理事業	1 浄化槽法第11条検査受検率	%	15.00	県集計中	現状のまま継続
	13	503206	地域美化運動支援事業	1 地域美化活動実施回数	回	95	70	現状のまま継続
	14	503305	不燃ごみ資源化事業	1 資源化率	%	50.00	44.71	現状のまま継続
	15	503203	ごみ集積所設置・管理指導事業	1 ごみ集積所の変更・廃止件数	件	96	92	現状のまま継続
る	16	503211	不法投棄対策事業	1 不法投棄ごみ撤去量	t	11.00	6.72	現状のまま継続
	17	503209	パートナー収集事業	1 パートナー収集実施決定件数	件	8	6	拡大
	18	503107	自動車用充電器管理事業	1 電気自動車用充電器の利用回数	回	2,500	2,608	他の事業に統合
	19	503108	野良猫対策事業	1 野良猫相談解決率	%	100	60.00	他の事業に統合
	20	503210	可燃ごみ収集運搬事業	1 家庭系燃やすごみ収集量(可燃性残渣抜き)	t	13,187	12,993	現状のまま継続
事	21	503303	不燃ごみ収集・処理事業	1 かん、びんの収集の取り残し発生件数	件	9	2	現状のまま継続
	22	503304	粗大ごみ収集・処理事業	1 粗大ごみ収集量	kg	707,000	766,680	現状のまま継続
	23	503213	し尿処理推進事業	1 し尿処理量	kℓ	630	668	現状のまま継続
	24	503306	有害・処理困難物処分事業	1 有害物、処理困難物処理量	kg	49,000	52,890	現状のまま継続
	25	503212	動物死体収集処理事業	1 動物死体処理手数料	円	994,000	868,000	現状のまま継続
務	26	503301	環境センター管理運営事業	1 破砕機不稼働日数	日	0	0	現状のまま継続
	27	503302	一般廃棄物最終処分場維持管理事業	1 埋立て容量	m ³	271.00	262.21	現状のまま継続
	28	503110	墓地等の経営許可事業	1 墓地等の設置件数	件	1	1	現状のまま継続
業								

特記事項	
------	--

今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・国連決議のSDGsのゴールである、エネルギー、生産・消費、気候変動、陸上資源などにもつながる施策であり、今後も推進していく必要がある。 ・持続可能な社会の実現のため、環境に配慮した生活スタイルや事業活動を促す取り組みが必要である。 ・身近な生活環境を保全し向上させていくため、美化活動運動を支援するとともに、公害の未然防止対策や発生源対策を行う。 ・ごみの分別ルールや減量についての説明会を行うとともに、資源回収団体へ回収量に応じた補助金交付を継続して行う。 ・ごみ減量化策(生ごみ処理機、生ごみ水切り器、資源回収、雑がみ回収)を積極的に行う。 ・事業系のごみ削減を市HPや広報紙で周知する。 ・不法投棄対策としてパトロールを実施するとともに不法投棄物の処理を迅速に行う。 ・これらの課題を踏まえ、吉川市環境保全指針や吉川市環境配慮率先実行計画の改定を行う。
-------	---

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No.	3 - 5
------------	-----------	------------	-------

基 本 事 項	施策名	第5節 災害に強いまちづくり			所管部署名	市民生活部
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）			評価責任者	中山 浩
	施策小項目	1 危機管理体制の充実	施策小項目	5 旧耐震基準で建てられた建築物の耐震化の支援	関連部署名(1)	市民生活部危機管理課
	施策小項目	2 水防体制の充実	施策小項目		関連部署名(2)	都市整備部都市計画課
	施策小項目	3 防災施設の充溢	施策小項目		関連部署名(3)	
	施策小項目	4 防災・減災に対する市民の意識の高揚			関連部署名(4)	
	施策の目的	・災害が発生した時、市民の生命や財産を守るまちをめざす。			役割 分担	市民 の 役 割 行政 の 役 割
	施策に関する個別計画	吉川市地域防災計画（最終改訂平成27年3月）				
		国民の保護に関する吉川市計画（最終改訂平成23年2月）				
		吉川市建築物耐震改修促進計画（平成28年3月改訂）				
		・自らの生命は自ら守るという意識を持ち、日ごろから、災害に対する備えを進めるために防災マップなどの活用に取り組む。 ・平常時より地域でお互いに助け合うことに努める。 ・自主防災組織は、災害時に地域の核となるよう実践的な防災訓練の実施に努める。				
		関係機関との連携強化や自治体間、事業者との応援協定体制を構築する。 防災施設、備蓄物資や資機材の整備に努める。 市民の防災意識の普及に努める。				

区分	指 標 名 (上 段)		単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)							
指	①	自主防災組織率	%	82.74	88.89	90.20	B	94.00
		増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3
標	②	自主防災会の訓練参加率	%	5.51	5.90	8.50	D	10.00
		増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3

評価軸	評価方法		評価点
	指標達成状況	合計点は 4点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	
①	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。		2点
②	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50~80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評 価 の 理 由 ・ 説 明	2点
③	<input type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		2点
④	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		4点
施策に関する現状と課題			
自主防災組織の組織率は地域によって偏りがあるため、地域差の解消を図ることが必要であるほか、自主防災組織が設立されている地域においても自主防災会の訓練参加率に関しては、参加者が集まりにくいといった課題がある。このようなことから、出前講座や講習会、講演会などにおいて「自助」「共助」の必要性について周知することで、防災意識を高め、自主防災組織率の向上と防災訓練参加者の増加を図っていく必要がある。		<p style="text-align: center;">施策評価 レーダーチャート</p>	3点
			総合評価 評価軸 ①~④の 評価点の 平均点

	貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
				成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値	
構 成	1	502106	防災組織支援育成事業	1 自主防災組織率	%	90.00	88.89	拡大
	2	502104	減災対策事業	1 地域防災計画の改訂回数	回	1	0	現状のまま継続
	3	502107	水防体制充実事業	1 水害対策活動を適切に実施した割合	%	100	100	拡大
	4	502105	防災無線整備事業	1 防災行政無線の動作異常数	基	0	0	拡大
	5	701206	既存建築物耐震改修促進事業	1 耐震改修補助金交付件数	件	3	2	現状のまま継続
	6	502108	国民保護等危機対策事業	1 国民保護計画の改定回数	回	1	1	現状のまま継続
す る 事 務 事 業								

特記事項
令和元年11月4日に第4回吉川市減災プロジェクトin中曽根小学校区を開催し、中曽根地区の各自主防災組織が避難所開設運営訓練を行った。

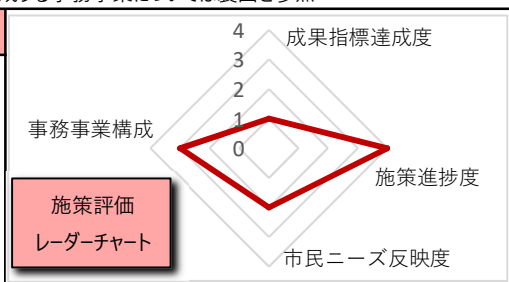
今後の展開
講習会や出前講座などを活用し、自主防災会未設置の自治会に対し、積極的な働きかけを行うとともに、内容についても検討していく。また、減災リーダー認定者や、女性減災リーダー育成セミナー修了者を活用し、地域の防災・減災活動の担い手になるよう働きかけを行っていく。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日		No. 3 - 6
基 本 事 項	施策名	第6節 総合的な治水対策の推進	所管部署名 都市整備部
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）	評価責任者 竹内 栄一
	施策小項目	1 河川の整備	関連部署名(1) 都市整備部河川下水道課
	施策小項目	2 雨水処理施設の整備	関連部署名(2) 市民生活部危機管理課
	施策小項目	3 雨水処理施設管理の充実	関連部署名(3)
	施策小項目		関連部署名(4)
	施策の目的	大雨による河川の氾濫や浸水被害が発生しないまちをめざす。	市民の役割 宅地内へ水害の軽減に役立つ貯留施設や雨水浸透枳の設置と適切な維持管理に努める。
	施策に関する個別計画	吉川市総合治水計画（平成13年度～）	
			行政の役割 公共下水道（雨水）の整備を推進するとともに、ポンプ場などの施設の適正な維持管理に努める。

区分	指 標 名 (上 段)	単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)						
指 標	① 浸水被害の軽減に対する市民満足度	%	56.4	54.4	65.5	D	70.0
	増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3

施策の 評価	評価軸	評価方法	評価点
		評価軸① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。
	評価軸② 施策の 進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50~80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	4点
	評価軸③ 市民ニーズ の反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	2点
	評価軸④ 施策に対する 事務事業の構成	<input type="checkbox"/> 妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	3点
	施策に関する現状と課題		総合評価
	浸水被害の軽減に向けて市内13箇所にある各雨水排水機場の維持管理を確実に実施してきたが、施設能力が近年の降雨傾向に対応しきれておらず、度々冠水被害が発生することがあり、市民満足度の向上にはつながらなかった。また、浸水対策の根本的解決が中川、大場川、上第二大場川の改修工事の進捗に依存しており、工事の完了時期は、未定である。 施設増強の方法、河川改修の早期完了及びその財源確保が課題である。		3点
	施策評価 レーダーチャート		評価軸 ①~④の 評価点の 平均点



令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No.	3 - 7
------------	-----------	------------	-------

基	施策名	第7節 暮らしを支える上水道の充実	所管部署名	水道課
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）	評価責任者	秋谷 裕司
	施策小項目	1 水道施設の整備	施策小項目	
	施策小項目	2 水の安定供給	施策小項目	
	施策小項目	3 水質管理の充実	施策小項目	
本	施策小項目		関連部署名(1)	
	施策小項目		関連部署名(2)	
	施策小項目		関連部署名(3)	
	施策小項目		関連部署名(4)	
事	施策の目的	安心・安全・おいしい水の安定した供給をめざす。		
	施策に関する個別計画	吉川市水道事業経営健全化計画（平成21年度～令和5年度）		
項	市民の役割	水道事業に関する施策への協力に努めるとともに、自己の給水装置の維持管理や水の合理的な使用に努める。		
	行政の役割	安全で安心な水道水を安定的に市民に供給するため、浄水・配水の施設や設備の維持更新に努めるとともに定期的に水質検査を行い、積極的な情報提供に努める。		

区分	指標名（上段）		単位	設定時の値	実績値（年度）	目標値（目標年度）	達成状況	最終目標値（目標年度）
	指標の性質（下段）							
指	①	安全な水の安定供給に対する満足度	%	84.50	85.60	87.80	D	90.00
		増加することが良いとされる指標		H28	R1	R1		R3
標	②	石綿管布設替の進捗率	%	74.28	81.50	81.80	B	82.59
		増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3

施策の評価	評価軸①	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 4点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	
施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50～80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評価理由・説明 ・「安全な水の安定供給に対する満足度」については、いつでも安心して水道水が利用できる環境が整備されている指数であり、味やにおいが気になり水質に不安を感じている方がおり目標達成に至っていない。「石綿管布設替の進捗」については、概ね順調に進んでいるため今後においても事業の進捗を図ってまいります。 ・市民意識調査において、安全な水の安定供給に対する認識の把握について調査を行っている。結果については、持続的な水道事業の運営に役立てるとともに、庁内各部署に対し、各取り組みの今後の参考となるように集計データを提供している。 本施策では、主要な取り組みについてのニーズや現状を整理し、持続可能で強靱な信頼される水道について取り組んでいくための事務事業を設定しているため妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	2点	
市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		3点	
施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		4点	
施策に関する現状と課題			総合評価 <div style="text-align: center;"> </div>	
・「安全な水の安定供給に対する取り組み」については、味やにおいが気になり水質に不安を感じている方がいるため、水質に対してより一層の注意をはらい供給を行う。 ・石綿管布設替工事においては、目標は概ね達成しているが、首都圏直下型地震などが想定されており、老朽化した施設更新や災害への取り組みが重要となる。また、水道事業を取り巻く環境は、節水機器の普及やライフスタイルの変化に伴い使用水量が減少して財政悪化が危惧される。		評価軸①～④の評価点の平均点		3点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)		
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値			
構	1	903107	基本計画策定事業	1	計画策定の進捗率	%	100	100	終了・完了
	2	903201	給配水維持管理事業	1	石綿管割合	%	7.90	7.89	現状のまま継続
	3	903202	浄配水場施設管理事業	1	有収率	%	91.00	93.03	現状のまま継続
成									
す									
る									
事									
務									
事									
業									

特記事項
吉川市水道ビジョン（経営戦略）の策定を行った。

今後の展開

- ・計画的に配水管洗浄や水質管理を実施して安全でおいしい水の供給に努める。
- ・吉川市水道ビジョン（経営戦略）を基に、水道施設の実施計画を策定して、施設の健全度と財政の健全度のバランスを考慮する。
- ・施設台帳で資産管理を行い、災害時に施設台帳を活用し敏速な作業復旧の対応が出来るようにする。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日		No. 3 - 8	
基	施策名	第8節 安全で明るいまちづくり	所管部署名	市民生活部
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）	評価責任者	中山 浩
	施策小項目	1 防犯体制の充実	施策小項目	
	施策小項目		施策小項目	
	施策小項目		施策小項目	
本	施策の目的	・だれもが安心して暮らせる犯罪のない社会をめざす。		市民の役割
	施策に関する個別計画	第3次吉川市防犯推進計画（平成30年度～令和4年度）		
事	役割分担			行政の役割
項				市民の役割

区分	指標名（上段）	単位	設定時の値	実績値（年度）	目標値（目標年度）	達成状況	最終目標値（目標年度）
	指標の性質（下段）						
①	人口千人当たりの犯罪発生件数	件	11.09	7.52	9.98	A	9.43
	減少することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R2

施策の評価	評価軸①	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 4点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	
評価軸② 施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50～80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評価の理由・説明	市の人口は増えているが、犯罪発生率は減少しており犯罪に対する市民意識が高くなってきていると思われる。	4点
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		防犯灯の新設や修繕について要望通り対応できている。なお、防犯灯設置基準を満たしている、耕作障害が見込まれる等の場所については、設置していない。	4点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		地域の要望や犯罪発生状況などにより市が安全を確保するために防犯灯を新設・修繕することは妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
施策に関する現状と課題				
評価	目標指標「人口千人当たりの犯罪発生件数」については、わがまち防犯隊連絡協議会の組織化、青色回転灯パトロールカーの導入や保第2公園防犯活動ステーションの開設など、防犯に係る環境整備と地域における活動を促進した結果、目標値9.98件に対して実績値7.52件と達成できた。今後においても、この状況を維持しつつ、特殊詐欺などへの対策について関係機関と連携・協力を深める必要がある。		<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="text-align: right; margin-right: 10px;"> 4 3 2 1 0 </div> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="text-align: left; margin-left: 10px;"> 4 3 2 1 0 </div> </div>	
			施策評価 レーダーチャート	4点

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日		No. 3 - 9	
基 本 事 項	施策名	第9節 交通事故のないまちづくり	所管部署名	市民生活部
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）	評価責任者	中山 浩
	施策小項目	1 道路交通環境の整備	施策小項目	
	施策小項目	2 交通安全意識の高揚	施策小項目	
	施策小項目		施策小項目	
	施策の目的	・交通事故のない安全なまちをめざす。	役 割 分 担	市民の役割 ・駐車違反や路上への自転車放置は行わず、交通環境の維持、向上に努める。 ・交通ルールを守り、交通安全意識を持ち続けることに努める。 行政の役割 交通安全施設の整備を行う。 市民の交通安全意識の醸成を図る。
	施策に関する個別計画	第10次吉川市交通安全計画（平成28年度～令和3年度）		

区 分	指 標 名 (上 段)	単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)						
指	① 交通事故年間死傷者数	人	299	178	279	A	269
	減少することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R2
標	② 人口千人当たりの交通事故発生件数	件	4.21	2.44	3.93	A	3.79
	減少することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R2

施 策 の 評 価	評価軸①	評価方法		評価点
		指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 8点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
	評価軸② 施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50～80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評 価 の 理 由 ・ 説 明 市内の人口が増えているにもかかわらず事故発生件数は減少している事を考えると、交通安全に対する市民の意識が高くなってきていると思われる。 横断歩道の設置等、所轄の警察署に要望しているが、様々な要因から未設置のものもあり今後も継続して要望していく。 警察や交通関係団体と連携し交通安全対策を行う必要があるため事業の構成は妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
	評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		3点
	評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		4点
	施策に関する現状と課題			
価	目標指標である「交通事故年間死傷者数」、「千人当たりの交通事故発生件数」については、道路交通法違反に対する厳罰化や取り締まりの強化、また交通安全関係団体によるキャンペーン、交通安全教育などの様々な活動により、年間死傷者は目標値279人に対して実績値178人、人口千人当たりの事故発生件数は目標値3.93件に対して実績値2.44件といずれも達成することができた。今後においても、自転車、高齢者が関わる事故の割合が高くなっていることから対策が急務となっている。			総合評価
			施策評価 レーダーチャート	4点
				評価軸①～④の 評価点の 平均点

	貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
				成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値		
構 成 す る 事 務 事 業	1	502203	交通安全運動推進事業	1	人身事故件数	件	180	178	現状のまま継続

特記事項

- ・交通関係団体による様々な取り組みなどにより、交通事故は減少してきているが、自転車、高齢者が関わる事故の割合が相対的に高くなっており、今後も高齢者を対象とした交通安全意識の高揚を図る事業を実施し、交通事故防止に取り組む必要がある。
- ・小中学生に対して、将来の安全運転の礎となるよう自転車の安全運転指導等を強化する。

今後の展開

- ・高齢者や子どもが関わる交通事故が多発していることから、交通安全教育を推進していく。
- ・自転車による交通事故が増加してきていることから、自転車利用者のマナー向上のため、児童・生徒・高齢者を対象とした自転車安全教室の回数を多く実施する。
- ・駅利用者の朝の通学・通勤時に自転車安全指導を実施し交通安全意識の高揚に努める。

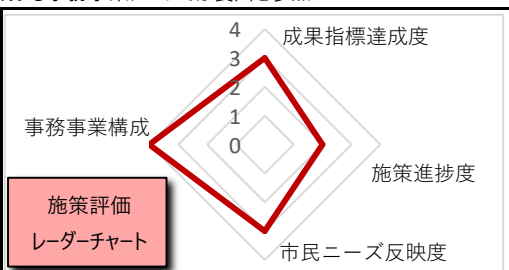
令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No.	3 - 10
------------	-----------	------------	--------

基 本 事 項	施策名	第10節 安心して暮らせる消防・救急体制の強化	所管部署名	市民生活部	
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）	評価責任者	中山 浩	
	施策小項目	1 消防体制の充実	施策小項目		
	施策小項目	2 火災予防対策の推進	施策小項目		
	施策小項目	3 救急・救助体制の充実	施策小項目		
	施策小項目		関連部署名(4)		
	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・失火による火災の発生や放火を防ぐまちづくりをめざす。 ・消防施設の整備や消防職員の技術向上、消防装備の充実をめざす。 ・救急車による医療機関への収容時間の短縮や救命率の向上をめざす。 	役 割 分 担	市 民 の 役 割	
	施策に関する個別計画				行 政 の 役 割
				<ul style="list-style-type: none"> ・火災予防知識を高め、失火等による火災の防止に努める。 ・救命処置や応急手当の習得に努める。 	
				<ul style="list-style-type: none"> ・消防・救急業務に必要な設備、装備の整備や隊員を養成し、消防・救急体制の充実に努める。 ・防火や応急手当などの知識や技能を普及させる。 	

区分	指 標 名 (上 段)		単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)							
①	消防力の整備指針に対する充足率（人員）		%	88.20	100	92.10	A	94.10
	増加することが良いとされる指標			H27	R1	R1		R3
②	消防力の整備指針に対する充足率（車両・署）		%	94.40	100	98.10	A	100
	増加することが良いとされる指標			H27	R1	R1		R3
③	住宅用火災警報器の設置率		%	73.40	78.15	79.80	C	83.00
	増加することが良いとされる指標			H27	R1	R1		R3
④	普通救命講習受講率		%	12.20	14.14	16.10	D	20.00
	増加することが良いとされる指標			H27	R1	H27		R3

評価軸	評価方法		評価点
	指標達成状況	評価理由・説明	
評価軸①	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 11点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	3点
評価軸②	施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50～80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評価理由・説明 ・消防力の整備指針に対する充足率（人員・車両・署）は目標を達成した ・「住宅用火災警報器の設置率」については、全国統一で調査する自治会をランダムに抽出し住宅火災警報器の設置率を調査することとなっている。今回調査した自治会の住宅火災警報器設置率は目標値を下回った。また、「普通救命講習」については、当日のキャンセルが発生するなど講習への参加率が下がり、目標値を下回った。	2点
評価軸③	市民ニーズの反映度 <input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	・住宅火災警報器の設置については引き続き周知、啓発を行っている。 ・普通救命講習については年間、定期的に講習を実施し、参加者が1名であっても講習会を行っている。	3点
評価軸④	施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	・消防、救急事務は公益性の高い必要な事務であり、その事務を行うため、消防施設を整備する必要があることから、施策の目的を達成するのに妥当な事務事業であると判断する。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
施策に関する現状と課題			総 合 評 価
・「住宅用火災警報器の設置率」については、さらなる啓発のほか、関係団体が行っている住宅火災警報器設置に対する助成等を周知するなど、設置率の向上を図っていく必要がある。 ・「普通救命講習」については、当日キャンセルの発生などから参加率が下がったことにより目標値を下回った。今後は、多様化する需要を鑑み、開催方法や時間帯など検討を進めるとともに、募集方法を含め普及啓発についても検討していく必要がある。			
			評価軸①～④の評価点の平均点



	貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
				成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値		
構	1	502101	吉川松伏消防組合負担事業	1	火災による死者数	人	0	0	現状のまま継続
	2	502102	消防団運営負担事業	1	消防団の出動人数	人	320	96	現状のまま継続
	3	502103	消防施設等維持管理事業	1	火災による死者数	人	0	0	拡大
成									
す									
る									
事									
務									
事									
業									

特記事項
吉川松伏消防組合車両更新計画に基づき、吉川消防署へ高規格救急自動車を配備した。

今後の展開

- ・消防体制の充実強化に向けて、引き続き、必要車両や施設・設備、資機材等の計画的な整備と維持管理に努めるとともに、消防職員の知識・技術の向上のほか、消防団と常備消防との連携強化を図る。
- ・火災予防対策の推進として、住宅用火災警報器設置率の向上を図り、防火対象物と危険物施設についても、積極的な査察、指導を実施し消防法令違反等に対する是正率の向上に努める。
- ・救急・救助体制の充実に向けて、管内情勢を予見し、救急救命士の計画的な養成と処置範囲の拡大に対応する研修の実施など、更なる整備を進める。
- ・吉川美南駅周辺地区の人口増加を見据えた南分署1隊増隊に向けて、人員の確保及び計画的な人材育成を推進していくものとする。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日		No. 3 - 11
基 本 事 項	施策名	第11節 消費者保護の推進	所管部署名 産業振興部
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）	評価責任者 山崎 守
	施策小項目	1 消費者保護の充実	関連部署名(1) 産業振興部商工課
	施策小項目	2 消費者団体の育成	関連部署名(2)
	施策小項目		関連部署名(3)
			関連部署名(4)
	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者が不当に不利益を被らない社会をめざす。 ・消費者団体の活動が活性化し、自立した活動ができることをめざす。 	役割 分担
	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活に関する正しい知識を養い、消費者被害の未然防止に努める。 ・事業者は、商品表示の適正化に努める。 ・消費者団体は、消費者の安全と消費生活の改善、向上を図るための活動に努める。 	
	行政の役割	市民の消費者トラブル防止や解決を図るため、消費生活相談の開設や消費生活情報を提供する。事業者の商品表示適正化を促進する。消費者団体の活動を支援する。	
	施策に関する個別計画		

区分	指標名（上段）		単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質（下段）							
指 標	①	消費生活センター相談解決の割合	%	99.50	100	99.80	A	100
		増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3
指 標	②	消費生活啓発講座等実施件数（地域・学校等）	回	21	27	27	A	30
		増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3

施 策 の 評 価	評価軸① 指標達成状況	評価方法		評価点	
		指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 8点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	4点	
	評価軸② 施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50~80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評 価 の 理 由 ・ 説 明	相談解決及び啓発講座件数はいずれも目標指数を達成しているが、相談件数は増加傾向にあることから、定期的な啓発講座は必要である。	4点
	評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		相談員が親切丁寧に相談者から事情を十分聴取し、解決に向けた消費生活情報の提供、解決を図ることが出来ていることから取り組み内容は反映できている。	4点
	評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		事務事業は、目的を達成するため必要かつ重要な内容であることから、施策に対し十分であり妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
施策に関する現状と課題		<div style="text-align: center;"> <p>成果指標達成度</p> <p>市民ニーズ反映度</p> <p>事務事業構成</p> <p>施策進捗度</p> </div>		総合評価	
スマートホンのワンクリック詐欺やインターネットの契約トラブル、還付金詐欺、悪質商法、架空請求等の消費者トラブルが巧妙且つ複雑化・多様化しており、相談件数も増加している。そのため、相談員は研修等に積極的に参加し解決方法等の情報を得ることが必要である。なお、令和4年4月1日から成人年齢が18歳に引き下げられるため、今後は若年層への啓発が課題である。				4点	

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)		
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値			
構 成	1	602204	消費者相談事業	2	完結度	%	95.00	101.06	現状のまま継続
	2	602205	消費者教育啓発事業	2	消費生活センターの相談件数	件	260	283	現状のまま継続
	3	602206	消費者活動支援事業	1	会員数	人	119	114	現状のまま継続
	4	602208	商品表示適正化事務事業	1	違反件数	件	0	0	現状のまま継続
す る 事 務 事 業									

特記事項

今後の展開

- ・昨年度末から新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域や学校から啓発講座の依頼が減少している。感染症対策を十分施したうえで周知が必要である。
- ・広報、ホームページ、啓発チラシ等により消費生活センターの認知度向上を目指す。